



青年局長 衆議院議員

太田和美

1979年8月28日生まれ

■20歳のころの私

23歳までに事業を興すと決めて、がむしゃらに働いていました。倅約をし、厳しいけれども前途に希望を持っていた気がします。

■20歳の若者に伝えたいこと

私自身、失敗と挫折の連続でした。でも、そこからたくさんの経験をし、たくさんのものを得ました。失敗を恐れていたなら何も始まりません。



青年局長代理 衆議院議員

田中美絵子

1975年12月16日生まれ

■20歳のころの私

20歳の時、初めてカンボジアを旅行し、地雷や貧困の問題に直面して衝撃を受け、彼ら・彼女らの役に立ちたいと思いました。

■20歳の若者に伝えたいこと

その時は具体的に何をどうしていいかわかりませんでしたが、今はカンボジア議連で活動しています。強く願えば、願いは叶うと思います。



青年局 次長 衆議院議員

横糸勝仁

1981年9月10日生まれ

■20歳のころの私

総理大臣になりたいという目標に向けて、人間力向上に努めていました。多くの出会いや経験を求め、一人旅によく出掛けました。

■20歳の若者に伝えたいこと

1人の人間には、本10冊分以上の情報が詰まっています。出会った人の数だけ、人は成長できます。出会いとご縁を大切にして下さい。



青年局 次長 衆議院議員

福田衣里子

1980年10月30日生まれ

■20歳のころの私

20歳になる少し前、大学を休学し3ヶ月間ヨーロッパを一人旅した。帰国後、出生時に投与された血液製剤によりC型肝炎に感染していることが発覚する。

■20歳の若者に伝えたいこと

明日、理不尽な事にあうかもしれない。その時、落ち込み自分の不運を嘆くと思う。しかし、実はそれは社会を変えるチャンスかもしれない。



青年局 次長 参議院議員

友近聡朗

1975年4月24日生まれ

■20歳のころの私

大学在学中の私は、サッカー部に所属しJリーガーを目指していました。政治には全く関心がなく、気が向いたときに選挙に行く程度でした。

■20歳の若者に伝えたいこと

雨の一滴も、やがて川となり海となります。「政治に無関心でいられても、無関係ではいけない」

歴

史的な政権交代が実現した先の衆議院総選挙。投票率も69.28%と、小選挙区制度になってから最高に。すべての世代で投票率が上がった中、20～24歳の投票率は全世代で最低の46.66%（男性44.94%、女性48.55%）。これは、もっとも高い65～69歳の85.04%のわずか5割強。今の心配や将来の不安をどう解決するのか、祖父母や親世代に任せたままでいいのでしょうか。未来を生きる若者の意見が政治に届かなければ、損をするのは若い世代の人たちです。

(投票率データは総務省選挙部調べ)

民主党青年局議員からのメッセージ

20歳になつたら 選挙に行こう！



2011 春

民主党オフィシャル学生インターンシップ

参加者募集中!!

“政治に興味がある”あなたへ

ここ数年、わが国だけでなく、世界中が激変の中にあります。将来を担う学生の皆さんには、日本の現状と、今後の方向について、真剣に考えてほしいと思っています。

民主党国会議員事務所でのインターンシップでは、政治がどのようにして動いているのか、またあまり知ることのなかった議員活動や政策立案の過程など、“今の政治”を生で見ることとなります。政治や法律を勉強している人は、大学などで学んでいるものと直接関連付けられ、より深く理解できるようになるでしょう。またそれ以外の人でも、政治の生の現場を見るという経験は、学校を卒業してからの皆さんの考え方にも大きく影響することでしょう。

“就活をどうするか悩んでいる”あなたへ

民主党オフィシャルインターンシップOBの多くは、「最初は政治の知識はほとんどなかった」といいます。日々、民主党本部での研修や、議員事務所などで政策の企画立案やマスコミ対応、官僚とのやりとりなど、「国会の仕事」をありのままに体験することで、新聞の読み方、ニュースの見方がわかってきたといいます。

民主党オフィシャルインターンシップを、あなたの未来を見つめるきっかけのひとつにしてみてください。



インターンシップOB

参加者の感想

■政治はものすごく遠い世界の話であると考えていたため、政治家を介して市民の意見や民間人の経験が国会にダイレクトに反映されると知ったことはとても新鮮だった。インターンが始まってからは毎朝通勤電車の中で新聞を読むのが楽しみになっていった。(C大学2年/女)

■メディアで報道されていることと実際に自分の目で見たとの間には大きな開きがあった。マスコミの報道を無条件に信じるのではなく、自分の頭で考えなければならぬと強く感じた。(N大学3年/男)

■懸命に努力している代議士の姿を見て、投票に行かないのに政治に文句を言うことはあってはならないことだと思った。そして日本の未来を明るくしてほしいと望むなら、投票に行くべきだと思った。(K大学2年/女)

■民主党オフィシャルインターンに参加して特に収穫だったことが2つ。仲間を見つけたこと、国会議員ってすごいと思えたこと。(T大学1年/男)

応募要領



実施期間 2月16日(水)～3月25日(金)
実施場所 東京都内(国会、衆参国会議員事務所、民主党本部 など)
応募方法 左のQRコードからアクセスし、モバイルサイトからエントリーしてください。
応募締切 2月2日(水)

☆詳しくは「民主党青年局」で検索を!

お問合せ

民主党本部青年局 インターン事務局
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
TEL.03-3595-9988
youth@dpj.or.jp